

第2回ケララ・山陰 オンライン・ビジネスフォーラム報告書

事業概要

中海・宍道湖・大山圏域とケララ州との間では、2015年の友好覚書（MOU）締結、2019年11月のケララ州首相率いる政府代表団による山陰訪問等、活発な経済活動が行われている。コロナ禍においても更なる経済連携及び企業のビジネス機会創出を目指すべく、2021年2月に続き2度目のオンライン・ビジネスフォーラムを開催。ケララ州 P Rajeev 法・産業及びコイヤ大臣、圏域市長会 田中武夫会長（安来市長）による挨拶、マドゥ S ナヤル INJACK 会長による特別講演、日本企業との連携を期待するインド企業からの企業紹介及び Q&A を実施。日印企業による具体的なビジネス案件創出に向け、幅広い分野での連携推進を図った。

（日印参加者数：約 100 名）

開催概要・事業結果

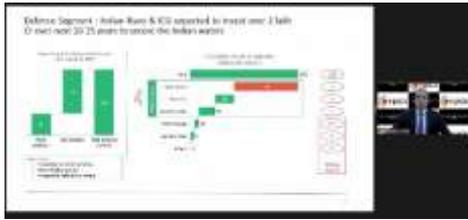
- 開催日時：2021年11月16日（火）14:00-17:00（JST）
- 開催手法：オンライン（日英同時通訳*サブチャンネル）/ZOOM
- 主催/共催：中海・宍道湖・大山圏域市長会、ケララ州、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、印日商工会ケララ（INJACK）、山陰インド協会、JETRO 松江・鳥取・チェンナイ
- 後援：島根県、鳥取県、国立大学法人島根大学、JICA 中国、在インド日本国大使館、在日インド大使館、在大阪・神戸インド総領事館、（一財）海外産業人材育成協会
- 参加者数：約 100 名
 - ・日本側約 50 名（インド既進出及びインド企業との連携を検討している企業、圏域関係者、大使館・領事館関係者、JICA、JETRO 関係者等）
 - ・インド側約 50 名（ケララ州、INJACK、日本企業との連携を期待するインド企業（食品、ウェルネス、竹製品、アーユルヴェーダ、ラボ備品、木材加工等）
- プログラム：【司会：松江市産業経済部まつえ産業支援センター アールティ・ダース氏】
 - 14:00～開会挨拶
 - ◆歓迎挨拶 INJACK 会長 マドゥ S ナヤル氏
 - ◆開会挨拶 ケララ州 法・産業・コイヤ大臣 P Rajeev 氏
中海・宍道湖・大山圏域市長会会長/安来市長 田中武夫氏（ビデオ録画）



Madhu S. Nair 会長：日印の連携強化により、新たな成功案件が創出されることに期待。
P Rajeev 大臣：ケララ州の投資環境改善政策を紹介。日本からの更なる投資を歓迎。
田中会長：山陰・ケララの信頼関係によりコロナ禍でも人材交流が継続し、採用に繋がった。

14:25～講演セッション

- ◆特別講演「ケララ州での海運業関係のビジネス機会について」
コチン造船所社長 マドゥ S ナヤル氏（INJACK 会長）



世界最大級の海軍を持つインドは、日本の造船関係製品や技術力を高く評価しており、日本企業の技術協力や進出を歓迎。大企業だけでなく、確かな技術を持った日本の中小企業とケララ州企業との協力により、日印両国の造船業界の発展に期待。

14:55～ビジネスセッション/インド企業の活動紹介

- ◆Synthite Industries Pvt. Ltd. (食品・食品加工、ウェルネス)
社長室長 ジジヨ ジョセフ氏
- ◆Bamboo Corporation Ltd (竹製品製造)
取締役社長 A.M. アブドゥル ラシード氏
- ◆Bipha Drug Laboratories Pvt. Ltd. (アールヴェエダ、ウェルネス)
取締役社長 アジェイ ジョージ ヴァルギース氏
- ◆Zeba Lab Furniture (ラボ備品)
営業部長 ディヴァ氏
- ◆Western India Ply woods (木材加工)
研究開発技術部長 Dr. E シュリニヴァーサン氏



5社のインド企業より、企業紹介および日本企業との連携可能性について発表を行った。本セッションでは、日本企業より複数の質問やマッチングの要望が寄せられた。今後は圏域及びジェトロ・インドデスクにて個別にフォローアップし、具体的な連携に向けた支援を実施予定。
<アンケート結果> (4段階評価中、上位二項目評価 84.2%)

- ・日本側「ケララ州企業のモチベーションの高さや、日本企業とのシナジーが感じられた。」
「インド・ケララ州の企業が日本に求めていることが、再確認できた。」
- ・インド側「将来的な日本からの投資や日本企業との連携の可能性が明確になった。」

16:50～ケララ州側参加者挨拶、閉会挨拶

- ◆閉会挨拶 印日商工会ケララ 幹事長 ジェイコブ コヴォール氏

